最新刊

教育の理論を説いた書は多い、方法を教へた書は更に多い。しかし教育の心を語つた書は少ないとりわけて眞に幼兒の生活に觸れた書は更に少ない。現代の日本が生んだ唯一の幼兒教育の權威たる著者は、永くお茶の水の幼稚園の主事として令名噴々たる人、本書は著者が多年幼兒の間に在つて體得した獨自の感想と考察とを述べて、幼兒の生活を中心とした人間教育の眞意を味到せしめんが爲めに、教育者と家庭の母とに贈つたものである。或は詩趣に充ちた感想文があり、教育の理想國を描いた創作があり、或は著者の溫容を彷彿せしむる講話があり紀行觀察錄がある。豐かなる興味と深き感銘と清き教訓とは、そのまま著者の心より讀者の胸へ流れ渡つて盡きないものがあらう。……

幼稚園雜草

東京女子高等師範學校教授
同 附屬高等女學校主事
倉橋惣三氏著

◇四六判特製美本函入
◇定價二圓五十錢
◇送料金十八錢
◇紙數五百二十餘頁

東京市日本橋區大傳馬町二丁目
内田老鶴圃
振替東京一二一四六番
電話浪花一二三

◇本號内容目次◇

▼園丁雜感——我幸の前途▽人間の偉大▽自然の光▽人間の國家の爲めに▽一致▽子ども▽ほゝえむ▽子どもの▽△まこと▽一點の嚴肅味▽一人の尊嚴▽布袋▽親しむ心▽新しみ▽お正月▽寒讃▽春が來る▽外へ▽外へ▽春よ▽風▽雨の日▽こゝろ▽ほゝへ▽夏▽ゝうるみ▽やす▽後▽六月の野▽立ちお▽秋が來た▽幼稚園の▽茶の▽水の▽燒跡に▽大▽積▽災と歸へる▽夏が▽幼兒▽極▽教育▽來▽性▽この▽機▽行春▽△▽啓▽雜▽を▽感▽迎へ▽フまつし

▼森の幼稚園——▽森の幼稚園（1森の先生 2がデン主義 3園藝主任 4笑がほの人 5詩の會 6應接間 7研究會 8新茶）▽夏子は幼稚園生活——此頃▽幼稚園人園兒▽何なる處▽幼稚園の園兒を迎へし▽お子さま終了する兒童達に

▼幼稚園を初て幼稚園に送る方に▽家庭▽園▽幼稚園の朝▽個人對話▽園外屋根▽恩▽教育價値▽幼兒の無踊に就て▽教育問答▽本眞劍▽斯く育てた▽幼稚園の保育者▽幼兒教育の▽思ふこと▽幼稚園の保姆▽保姆▽人▽幼兒教育者▽教育の▽第一義▽以て導▽我等▽は▽幼兒を▽尊▽重す▽ら▽小▽ども▽から▽學べる▽人で▽ない▽ば▽幼稚園▽ぬ▽教▽極▽性▽暮▽行▽雜▽感▽フレ▽ベル▽傳▽憶▽ふ▽つけて▽フレーベルの▽ロー▽女史を

▼幼兒に聽かせるお話——▽幼兒教育の新目標▽幼兒教育の特色▽フレーベル主義の新釋▽幼稚園と小學校との連絡▽高等女學校と▽幼稚園の副次的任務▽英國保▽シカゴ及コロンビヤ大學の幼稚園

◇幼兒に聽かせるお話
倉橋惣三先生序
日本幼稚園協會編
定價三圓八十錢
送料十八錢

◇幼稚園保育要目
萬國幼稚園協會案
日本幼稚園協會譯
倉橋惣三先生序
定價一圓九十錢
送料十二錢